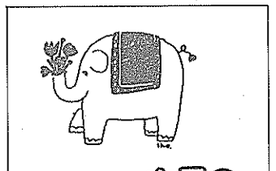



## 詩

### 春雨

空が泣きだしました
春だというのにどうしてなの
今年の春のお空さんは
よく泣くのね
あんまり大粒の涙をおとすと
桜さんがかわいそうでしょ
誰かに叱られたのかしら
でもあなたの涙には
かさがいらないのね

西川鈴江（里改田）

### 今、あなたに

ほら、今、あなたは
何か聞こえませんか
そよ風の中　今、
耳をかたむけてごらんなさい
そう、遠くの方からです
何か聞こえてくるでしょう
ほら、今、あなたは
何か見えませんか
そよ風の中
今、あなたの目の前で
そう、遠くの方です
あなたの彼が
駆けてくるではありませんか
ほら、今、あなたには
何か感じられませんか
あなたの彼のやさしさが
そう、そうです
今、あなたのすぐそばで
今、あなたの胸の中で

川久保尚亮（金地）

# 公民館活動は どうあるべきか (2)

山崎忠雄（稲吉公民館長）

三十年の間に人口が十倍近くにふくれあがった私たちの部落は、住民構成が全く一変しました。穀倉地帯の主であった豊かな数十戸の農家が主体であったのが、その幾倍かの転住家庭と、さらにそれ以上の寄留家庭で構成される大部落に変貌した。昔の氏神様を中心として素朴な伝統の中で強固な結びつきを保ってきた部落が「隣は何をする人ぞ」といった都会的風習に移行して、一つの部落としての暖かい雰囲気、社会の体温ともいえるものが低下してきたことも時代の流れとして止むを得ないことかも知れません。

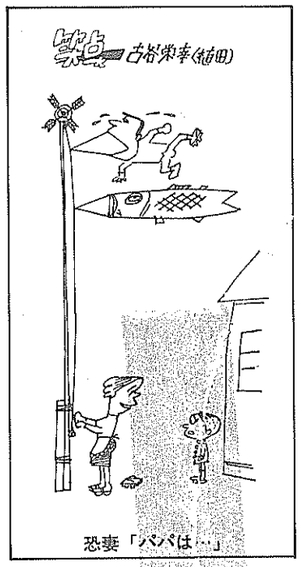
しかし、これを自然の成行として放置するのではなく、よい伝統にはみんなが同調していくよう、またよいと思う慣習はみんなで守り育てるように努めて人間性豊かな雰囲気をかもし出し保ち続けていく、こんな方面に努力を注ぐことが部落公民館らしい活動の方向ではないでしょうか。

そのための手近な方法として「挨拶と笑顔で織りだすまちづくり」を呼びかけたいと思います。特に新しく転居してきた人たちは、近所も知らず、慣習もわからず、いろいろと気を使いながら相当の期間を経てやっと周囲となじんでくるのが実情でしょう。転入して来た人がタオルの一本も持って挨拶まわりをする、こんな風習を脱けだして、転入者があると、古くからいる人の方から先に言葉をかける、こんな風習に変わったら――ただそれだけのことでどんなに新しい人が安心し、気安く土地になじみ、よいところへ来たという気持がわくでしょう。こんなささいなことこそ明るく住みよい町づくり、村づくりの第一歩だと考えます。

言葉をかけ合う、顔がほころびる、話題が生まれ、展開していく、この実体こそ人間社会の体温を保つ原動力でしょう。西洋の宗教は「始めに言葉ありき」と教え、日本では昔から「言魂の幸ほう国」と言われ、洋の東西をとわず、言葉を大切にすることを教えています。

月一回の清掃奉仕日が設けられてから、隣近所と気安く交わりができるようになったとの声も聞きます。知らないところに旅をして、知らない子供に「こんにちは」と声をかけられ、その土地柄に対してほのぼのと愛着を感じた経験のある方も多いでしょう。

「おはよう」「こんにちは」「お休みなさい」こんな簡単な言葉が、ごく自然に道で逢う人ごとに交される情景、なんと楽しい図ではありませんか。それは私のはかない夢でしょうか。




## 親子クイズ 56

ご家庭で話し合って答えてください。答えは今月号の広報に出ています。

**もんだい**

各家庭で使われているゴミ袋が七月一日より、紙袋から○○袋になります。

**しめきり**・五月十五日（土）

**おくり先**

〒783　南国市大埔・南国市役所内　広報委員会　親子クイズ係

**答えのハガキには必ずお歳・職業を書いてください。**

広報や行政に関するご意見・マンガ・詩・地区の話題など、どしどしおよせください。マンガは黒のスミかインクで書いてください。

**しょうひん**

特賞（三千円）＝二人　残念賞（記念品）＝十人

**特賞に**

**岩原明美さん（白木谷）**
**西本富美さん（植田）**

第五十五回正解者発表



# 学校めぐり

## 長岡小学校

わたしたちの学校は長岡台地のまん中にあって、田や畑にかこまれた見はらしのよい場所にあります。昨年、創立百周年をむかえて古くりっぱな歴史のあることを知りました。そして今年は百一年目、わたしたち四百三十人が力を合わせて新しい歴史を作りだすのだとはりきっています。

記念事業として、いこいの庭に記念ひを立ててもらったり、ピアノや図書室の本もたくさん買ってもらいました。運動用のマットや体育の設備も新しくととのいました。

校舎は北舎、南舎の二つに分かれた二階建て、校舎の間には科学の庭や、池のある中庭があります。また、たくさんのハトが学校内を飛びまわっているのも大きな特色です。いつも学校の屋根にいるけれども、時々群れで校舎の屋根の上をぐるっと一まわりしています。

りっぱな体育館もあって、スポーツ教室や子ども会行事にも開放されています。

玄関前に「みんなで、ささえ合い、築こう、長岡小」ということばが、石にきざみこまれています。これがわたしたちのあいことばです。みんなで仲よく助け合う心が満ちていますから、新しくこられた先生方が「明るくて気持ちがさっぱりしている。」とほめてくださいます。子ども会活動の中でも、クリスマス会や卒業生を送る会などの行事をたくさんしています。そのたびに上級生と下級生が仲よくなるように思います。

夏休みに、五年生は中ノ川キャンプ、六年生は梶が森登山に全員が参加します。九月の中ごろには同和合宿をします。この合宿は、五・六年で班をつくり運動場でキャンプをします。この時には同和の勉強や差別の話し合いをしますが食事やキャンプファイヤーも楽しみです。

わたしたちの学校に分室があって四人の先生が教えています。希望の家の「ひまわり学級」です。二十三人のからだの不自由な人たちの教室があります。運動会や卒業式のとき車いすにのって参加します。先生の話では、病気でからだがきかないのにろうかをはって行ってでも勉強をしたいとがんばっているということです。すごくすばらしいなあと思いました。

わたしたちは六年生になって、この長岡小学校をりっぱな学校にするのは自分たちだとその責任の重いことをつくづく感じています。

## 南国歌壇

冬の騎士雨の衣をまといて
阿南の海に迫りくる朝　領石　唐岩勇

残英の彩にまどへ吾をさす
刺客はもろげの薔薇と云ふにか　久礼田　旺薔薫

ひと待つと立つ並木道夕されば
われも寂しき一樹となりぬ　大埔　上東奈賀子

燭さげし探梅行となりにけり
湿槃図へ影を落して拝みけり
裏門を入る親しさの常楽会
菜畑にきほひの見えて日脚のぶ
炭窯の火蒸のほてり幽かかな
掲舟に砂吹きだまり春浅し
暗闇の鳥が羽搏き寒戻る
河口航く枯葦枯葦のみの旅
老ゆる坂穂麦かすかな風許す

## 南国俳壇

高橋　以登（梵鐘会）
林　光江（〃）
竹内とし子（〃）
中村　正香（波俳句会）
松木　巨郎（〃）
森田　きみ（〃）
溝渕由紀男（岩村句会）
島崎　洸一（〃）
池　さち（〃）

■こたえ

三月定例市議会は三月十二日開会でした。

■特賞・二千円＝二人
岩原明美（白木谷）
西本富美（植田）

■残念賞・記念品＝十人
浜田ひろし（大埔）村上静（岡豊町小蓮）竹崎三州（久礼田）高島暁子（物部）隅田幸子（後免栄町）野村美知子（下野田）島崎恵子（岡豊町常通寺島）中川明美（大埔）中川美代子（東崎）岡田幸彦（立田）

おめでとうございました。これからもご応募ください。

### お願いします

■飼主はいませんか―。四月十五日頃、白木谷の岩原智さん宅にビーグル種（七～十歳、牝、経産犬）の犬が迷い込み飼育しています。お心当の方は連絡してください。連絡先・(2)8332または市役所内線433まで。

■連絡員のみなさんご苦労さまです。連絡員が変更されたときは、すぐに市役所管理課文書庶務係にお知らせください。内線422まで。

■親子クイズのハガキには番地まではっきりと書いてください。送った賞品が帰ってくることがあります。